

I 期	天童木工・そもそも・成り立ち	組合の結成 :そもそもは・・・ 初代社長 :大山不二太郎 初代工場長 :加藤徳吉 のち3代目社長 エピソード 等
	戦前から戦後へ	国立工芸指導所のかかわり 新技術導入による発展・高周波発信装置の設置 成形合板の発展 家具デザインの取り組み デザイナーとの出会い 剣持 勇、etc・・・ 建築家 坂倉順三との出会い・・・建築と家具 柳 宗理の登場
II 期	東京オリンピック	東京オリンピックを前後して戦後を代表する多数の建築家の出現、天童木工とのかかわり 丹下健三 前川國男、・・・etc 多数のデザイナーの参画 インテリア・家具・ロゴ 単体の家具から建築造物物への展開
III 期	その後① 70年代	70年代ブルーノ・マツソンとのデザイナー契約 その天童木工における影響 成形合板+異素材での新たな製品の開発、発表
	その後② コントラクト事業 バブル期、バブル後	民間家庭用家具から公共建築物、民間企業(ホテル等)への展開・拡張 コントラクト物件の増加 アトリエ系設計事務所・組織設計事務所物件への参画増加 磯崎 新、黒川紀章、日建設計 川上 元美 <b>※建築家、設計事務所、その周辺とのかかわり方</b>
IV 期	現代、これからへ	今、これからの時代に向けて 隈 研吾、藤江 和子・・・etc 森林法やSDG'sへの対応
	総括・紹介	※「天童木工とジャパニーズモダン」(天童木工80年史) に網羅記載されている方々、歴史 建築家、デザイナー 建築における家具造作の歩み